

作曲家のエピソードを交え、音楽の仕組みを分かりやすく解き明かす
愉しく、学べるコンサート

高橋 舞トークコンサートは1年に3回シリーズのコンサートです。
1回ごとに異なる作曲家の作品を取り上げて、巨匠たちの作曲の秘密に迫ります。

第4回 2012年7月27日（金）～ドビュッシーの生誕150年を記念して～

ドビュッシー：2つのアラベスク

ブルグミュラー：25の練習曲 Op.100より「アラベスク」

シューマン：アラベスク Op.18

ドビュッシー：映像 第1集「水の反映」「ラモーをたたえて」「動き」

※曲目は変更になる場合があります。予めご了承ください。

高橋 舞 piano & talk



桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。オーストリア国立モーツアルテウム音楽大学大学院修士課程ピアノ演奏科修了、「マギスター・デア・キュンステ」の称号を得る。バッハに関する修士論文は最高の評価を獲得。ウィーン国立音楽大学にてチェンバロをインゴマー・ライナー氏に師事。ザルツブルク・スタインウェイ・ホールにてソロリサイタルを開催。イタリア、トリエステにおけるステファノ・マリッツァ国際ピアノコンクール第2位入賞。入賞者演奏会の模様はイタリアにてテレビ放映される。2006年のモーツアルト・イヤーにはザルツブルガー・ゾリストンとモーツアルトのピアノ協奏曲第12番K.414を共演。ザルツブルクのミラベル宮殿マルモア・ザールにてイェルク・デームス氏と共に演奏する。フロレンターノ・ロッソマンディ国際ピアノコンクール入賞。銀座王子ホールでのピアノ・リサイタルを皮切りに、ソロ・室内楽・歌曲伴奏の分野で活動。王子ホールでのリサイタルは、「ムジカノーヴァ」、「音楽現代」にて好評を得る。これまでにイタリア、ドイツ、オーストリア、ハンガリー、クロアチアにおいて演奏会を行う。ライフワークとしてテーマを持ったレクチャー・コンサートを行い、毎回評判を呼ぶ。これまでにすぎなみ文化芸術活動助成基金助成事業として2008年には作曲家シリーズ第1回「音楽と映像でたどるシューベルト～シューベルトの手紙とともに味わう歌曲・ピアノ曲の世界～」を、2009年に第2回「生誕200年記念メンデルスゾーン 飛翔するロマン～メンデルスゾーン姉弟、歌そして無言歌に込められた想い～」、そして2010年には3回シリーズの「名曲で楽しむ！音楽史の旅～高橋 舞が紹介するクラシック音楽の名曲&作曲家たちの知られざるエピソード～」を開催し、好評を博す。2009年より桐朋教育研究所主催の桐朋講座にて「広がるクラシック音楽の世界“キーワードから読み解くクラシック”」の講師を務める。2010年には「今日からあなたもクラシック・ファン“クラシック音楽選りすぐり10選”」も開設。幅広い知識を活かして“豊かなクラシック音楽”的世界を発信する、今注目のピアニスト。

公式サイト <http://mai-takahashi.com/>